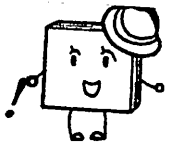


そうだ！夏休みだ！本を読もう！



沼高「図書館通信」第81号・特別付録

◆特集【新時代「令和」を知ろう】◇

新元号「令和」がスタートして、早3ヶ月が経とうとしています。

新元号の出典となった『万葉集』が注目を集め始めたり、天皇の世代交代から、日本という国についても、あらためて見つめ直したりする動きが本の世界でも活発化しています。

…ということで、今年の夏休みに向けての特設コーナーでは、新時代、「令和」に関連した、皆さんが読みやすい書籍をまとめてみました。

カウンター横で紹介中ですので、是非手にとって読んでみてください！！

◆『万葉集（一）全訳注原文付』

中西進 著・講談社文庫

・万葉集の第一人者である中西氏による著書である。原文、読み下し文、全訳、語注など掲載されている。

◇『万葉の秀歌』

中西進 著・筑摩文庫

・日本の心を豊かに伝えてきた「万葉集」全4, 500余首より、珠玉の252首がセレクトされている。

◇『万葉集から古代を読みとく』

上野誠 著・ちくま新書

・万葉集の新しい読み方を提案する画期的な書。情感を伝える歌や事実を伝える日記…古代人はどうした？

◆『万葉手帳』

上野誠 著・東京書籍

・万葉集の世界を体感できる。コンパクトながら、オールカラーで92篇の厳選された歌を紹介。

◆『マンガで楽しむ古典 万葉集』

井上さやか 監修・ナツメ社

・奈良県立万葉文化館主任研究員の井上氏が監修し、瀧玲子氏がマンガを担当。この機会に万葉集を身近に!!

◇『大嘗祭の起こりと神社信仰』

森田勇造 著・三和書籍

・民族研究、写真家である森田氏が、皇室と稲作文化の知られざるしくみを紹介。

◆『大嘗祭の本義』

折口信夫 著・三和書籍

・民俗学からみた大嘗祭…ということ
 ことで、折口氏の「昭和三年講演
 筆記」を森田氏が現代語訳した書。

◇『日本の365日を愛おしむ』

本間美加子 著・東京出版

・「令和」からはじめる新時代の
 生活暦。副題は「毎日が輝く生活
 暦」あなたにとっての特別な日は？

◇『鳥居大図鑑』

藤本頼生 著・グラフィック社

・「鳥居」といえば神社の代名詞!?
 外国人からみれば日本の象徴のひとつ
 つともいえる鳥居の魅力とは…。

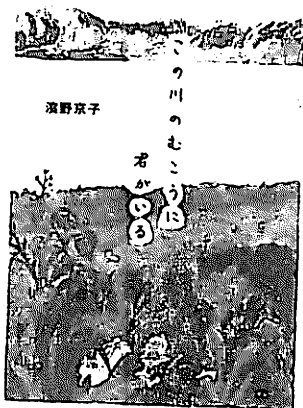
◆『明日話したくなる元号・改元』

阿部泉 執筆、監修・清水書院

・元号や改元について、そのエピソードが
 文献資料に基づいて、解りやすく書か
 れている。

第65回 青少年読書感想文コンクール

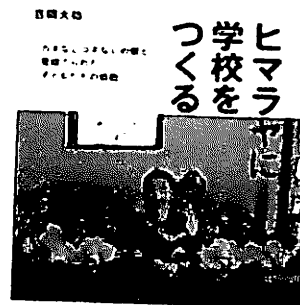
※ 高等学校の部・課題図書



▲『この川のむこうに君がいる』
 濱野京子 著・理論社



△『ザ・ヘイト・ユー・ギヴ』
 ~あなたがくれた憎しみ~
 アンソニー・トーマス著・岩崎書店



▲『ヒマラヤに学校をつくる』
 吉岡大祐 著・旬報社

~読んで世界を広げる、書いて世界をつくる~

◎カウンターで紹介しています。コンクールに関係なく、気になったら、
 借りてみてください。コンクールについて詳しく知りたい人は司書まで!!